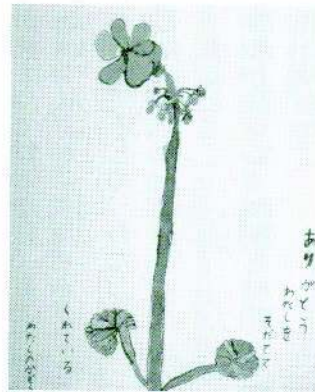




久木野小学校3年  
中村 ゆみ



久木野小学校3年  
古川 夏樹

## お父さんのしごと

長陽小学校 三年 福山 春

この前の金曜日、学校から帰ると、お父さんは、部屋にいました。わたしは、すぐに（じむしょにいるんだな）と思いました。お父さんは、家にいないときは、たいていカラクリ研究所のじむしょにいるからです。

わたしは、えんぴつとプリントを持って外へ出ました。げんかを出て、家となりのカラクリ研究所にいきました。ドアを開けて、

「おつとう。」

と言つて上にながっていきました。

上にながつてみると、やっぱりお父さんがいました。お父さんは、パソコンをしていました。お父さんの近くまでいって、

「ちよつと聞いていい。」

と言つと、お父さんは、

「なんね。」

と言いました。わたしが、

「しゅくだいで、お父さんの仕事のことを聞かなんけん、教えて。」と言つと、わたしの方に顔を向けて、

「いいよ。」

と言いました。わたしは、えんぴつを持って、お父さんにしつもんをしました。

「どんなしごとをしていますか。」

と聞いたたら、

「こんなものがあつたらいいなと思うロボット作り。」

と教えてくれました。

「しごとの時、気をつけていることは何ですか。」

と聞いたたら、お父さんは、

「すぐに遊びたくなるから、遊ばないように気をつけているよ。」

と教えてくれました。わたしは、そのことを初めて知りまし

それから、わたしは、

「しごとをしていて、たいへんなことは何ですか。」

と聞きました。お父さんは、

「ううん。」

としばらく考えてから、

「使えるお金が決まっているから、あまりお金を使わないように

つくるのがたいへん。」

と教えてくれました。そして、わたしは、

「うれしいことは、何ですか。」

と聞きました。すると、

「ロボットが出来上がって、お客さんが『うわあ、楽しいなあ』

と言ってくれた時かな。」

と教えてくれました。

「わたしたち家族への願いは何ですか。」

と聞くと、

「早くやりたいことを見つけて、すてきな人生を送ってください。」

と言いました。

わたしはまだやりたいことが見つかっていません。早くやりた

いことを見つけたいなと思いました。

わたしは、お父さんが教えてくれたことをプリントに書き終わ

ると、

「ありがとう。」

と言って、家にもどりました。プリントをランドセルに入れて、

妹たちと遊びました。

わたしは、四年生くらいになったら、お父さんの仕事を手伝い

たいなと思いました。いつも、お父さんが楽しそうにロボットを

作っているからです。お父さんは、

「きかいをさわると、あぶないよ。手を切るかもしれないから。」

と言っているから、やり方を教えてもらってからだとできるかな、

やってみたいなと思います。

前に作ったロボットは、四面おみくじでした。とてもおもしろ

いので、何回してもあきません。これからもいろんなロボットを

作ってほしいです。わたしは、お父さんのことが大好きです。早

くロボット作りの手伝いをしたいです。

「家の人のしごと」を調べる学習で、お父さんへの聞き取りをしたときのことを書きました。ロボットを作るお父さんを



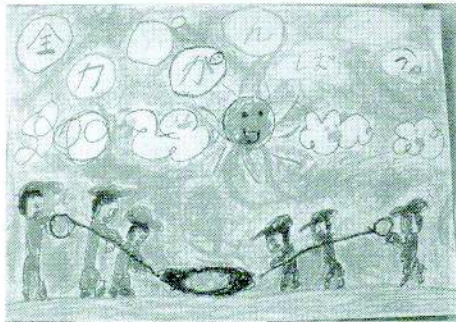
と教えてくれました  
 「わたしたち家族への願いは何ですか。」  
 と聞くと、

とても誇りに思っている春さんは、お父さんのことやロボットのことをよく話してくれます。家庭訪問の時には、「先生、見て、見て。これだよ。」と以前話してくれたロボットを自慢気に見せてくれました。

この綴りでは、楽しいロボットを作るお父さんへの誇り、「さわるとあぶないよ。」と気遣うお父さんの温かさ、自分も早くお父さんと一緒にロボット作りをしたいという思いが伝わってきます。

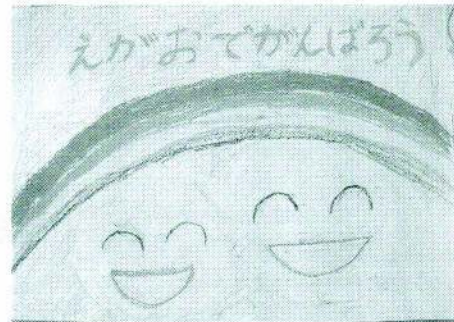
今後は、お気に入りの「四面おみくじ」を作られた時の様子やお父さんと一緒に遊んだ時のことを綴ることで、家族の仕事への誇りをさらに深めてほしいと思っています。

河野由美



「全力で がんばろう」

長陽小学校3年  
 村上 海翔



「えがおで がんばろう」

長陽小学校3年  
 坂井 美心

「家の人のしごと」を調べる学習で、お父さんへの聞き取りをしたときのことを書きました。ロボットを作るお父さん